在校生・卒業生・保護者・教職員

進路通信 2017/12 前期

北海道釧路湖陵高等学校進路指導部

◆特集 春はきっと来る！

朝起きると、青白いくすんだ空気が街をつつみ込んでいる今日この頃。外の空気はより寒くなり、-3℃、時には-8℃まで低下してきています。幸い、釧路はまだ雪に覆われていませんが、北海道の半分は一面の銀世界となってきました。

湖陵生の皆さんは吐く息で手を温め、寒さを遮るよう身を縮めて毎朝登校しています。このくすんだ世界が4月に一変し、新たな草木が芽吹くとともに新しい出発を迎えることとなります。

今からもう20年以上も前になってしまいますが、私自身、上京して私立大学で4月を迎えました。まばゆいばかりの太陽、真っ白いキャンパスの前に立ち、たくさん立ち並ぶ桜の下で新入生を歓迎する大学の先輩たちに出迎えられ、新たなスタートに胸を躍らせた日が昨日のように思い出されます。

そう、湖陵の3年生にもきっと春はやってきます。

その新たな門出の前に、センター試験・私立大学の一般受験・国公立大2次試験という厳しい闘いを乗り切らなければいけません。我々教職員とともに、湖陵生のために、そして素敵な春を迎えるために、勇気を持って目の前に立ちただかる「受験」という巨大な壁に闘いを挑みましょう。

1・2年生はその先輩たちが必死に勉強している姿をしっかりと目に焼き付けてください。それが湖陵生の宿命です。

11月下旬、釧路市内において駿台予備学校主催の入試研究会が開かれました。講話した担当者は駿台に通っている予備校生にこう言ったそうです。

「センター試験まであと約50日だ。この50日間、一体何時間勉強できるのでしょうか。センターの過去問をどれだけ解くことができるのか。たくさんできるはずです。**君たちには経験値が足りない。**1年間の受講で模試の問題が**初見**（初めて解く問題）だったなんて、本当はあるわけがない。だからこそ、経験値を上げてください。」

何が言いたいのでしょうか。私なりの言葉に置き換えてみます。センター試験はどれだけ問題演習を繰り返すかにかかっています。演習した分が点数に反映されます。逆にいうと、演習した分しか点数にならないのです。「効率よく」とか「スキ間の時間も」ではなく、1日の中で起きている時間全ては勉強時間だと思ってください。

同じ問題を何度も繰り返したのに、点数は上がらない。本当でしょうか？問題を解く際、分からないとすぐに解答を見てしまっていないでしょうか。それは写経と同じです。何も見ないでスラスラ解けるまでやり続けることが必要です。

翌日、もう一度問題を解いたらできなかった。前日の勉強時間全てが無駄になってしまいます。

模擬試験で時間内に解ききれない。時間を計って訓練しないからです。

演習しているのに、点数が全然上がらない。それは自分ではやっていると思っているだけで、ただ単に演習量が足りない、という生徒も数多くいます。

こうしたことを前提にした上で問題演習をひたすらこなして下さい。

特別授業が既に始まっています。特別授業はある意味、講習と同じです。皆さんの点数を上げるために先生方が魂を込めて構成されている空間がこの特別授業です。特別授業と自分自身の受験が全く連動していない生徒が毎年見受けられます。頑張っているんだけど、どちらとも中途半端になってしまうのでしょうか。それではセンターの点数はあまり上がりません。特別授業と自分の受験勉強を連動させ、その相乗効果で点数を最大限上げるように考えて勉強の計画をつくって下さい。

次にあげるのは昨年度、一昨年度の卒業生がセンター試験直前の3日前に書いた文章です。何名か私の方でピックアップしました。自分自身に対する決意文です。また、副題が「1・2年生の後輩たちへ」です。ぜひ1・2年生も心に刻んで下さい。合わせて部活動に所属している場合は明記しています。同じ部活がありますが、他意はありません。

・早いうちに参考書を買って、読み切ってしまうことが大切だと思います。一冊をダラダラ読むより、2・3日で読み切った方が頭に入るし、何せ3年生になったら読む時間がなくなります。あと、積極的に夜更かしして勉強して下さい。朝早起きしてやろうとしても大概是寝坊します。センター前になると、体調管理や生活習慣を朝型にしなければならないので、夜に追い込みをかけることは難しくなります。それと、携帯のアプリは全て消しましょう。電源を切るのではなく、充電をなくし、完全に使えなくしましょう。音楽を聴きながら勉強するのを直ちにやめましょう。「音楽を聴いた方が集中できる」「無音は人にストレスを与えるよって、Twitterで流れてきた」と思っている人へ。センター本番では音楽を聴きながらなんてできません。無音はストレスとかいうけど、問題に集中してれば何のストレスにもなりません。自分に厳しく勉強に励みましょう。(サッカー部 北海道大学旭川校 合格)

・センター直前の今、自分が思うことは古文漢文の大切さです。センターにおいて国語の200点はかなりのものであり、そして国語は現代文の調子に左右されることが多いと思います。そこで古文漢文の安定が大切になってくるのかなと思います。理型の生徒は国語が厳しいと思います。自分は直前になって古文漢文を始めたのですが、一年前から少しずつでもやっていたら国語に対する心持ちも変わったのではないかなと思っています。

(サッカー部 神戸大学発達科学学部 合格)

・センター直前に振り返るのは何ですが、僕が受験勉強において後悔していることは早い段階で明確な計画を立てなかったことです。大体の人が本気で勉強し始めるのが夏休みです。僕はその夏休み、かなり勉強したと思っても内容はボロボロで、弱点克服をすることができませんでした。今は何ができて何ができないかを把握することができるようになり、それが分かれば後はトコトンやるだけです。模試の解き直しをすればできていないところが分かります。点が取れない時期があっても、土台がしっかりしていれば最後は絶対点数は伸びます。辛いときもあると思いますが、自分を信じて頑張ってください。

(バスケットボール部 北海道大学総合理系 合格)

・何を勉強すればいいのか分からないという人がいるかもしれません。そういう人たちは勉

強しない言い訳をつくって逃げているだけだと思います。自分もそうでした。そうやって勉強しないまま時間だけが過ぎていき、偏差値が総合で10ほど落ちました。皆さんはまだ時間があります。私のようにならないためにも勉強を少しずつでもいいので毎日継続して勉強して下さい。教科書を読むだけでもいいです。とにかく毎日やって勉強する習慣を付けて下さい。（ソフトテニス部 釧路公立大学 中期合格 北見工業大学 後期合格）

・自分が受験勉強していく中で感じたことは、定期考査前の勉強の大切さです。定期前にたとえ一夜漬けだとしてもできる限り努力して理解したものは、時間がたってもある程度は覚えていきますし、センター試験はマーク式なので曖昧な知識でもそれに助けられることは多々あります。受験勉強をする際も、一度理解した内容の復習と一から理解するのではかなり違いが出ます。だから日頃から勉強する習慣のない人はせめてテスト前だけでも最低限、必死に頑張ってください。特にソフトテニス部の皆さん、赤点なんて取らないで下さい。

（ソフトテニス部 宇都宮大学地域デザイン学部 合格）
・センターの直前になって点数が伸びてこないとどうしてもこの点数で行ける大学はどこだろうかと探してしまうと思います。大学を知るとは良いことだとは思いますが、妥協の原因にもなりかねないので注意して下さい。また、メリハリを付けることが本当に重要だと思います。何時に始めると決めたら、必ずその時刻に始めましょう。あと10分、あと10分と延ばしていくと永遠に勉強は始まりません。自分のやりたいことをやるためにも頑張れ！

（野球部 静岡大学農学部 合格）
・1・2年生の皆さまへ。私は「頑張る」ことがとても苦手です。普通の人は周りが頑張っていると私も！となるのですが、私はなぜかそうはいかず、勉強を始める時期が遅れてしまいました。今からなら全然！間に合うと思います。ほんの少しでも頑張れた日は自分を褒めてあげて下さい。自分を大切にしてください。そしたら無理もせずに自分のペースで努力できると思います。後悔しないようにね。（音楽研究部 北見工業大学 合格）

・センター試験を前にして緊張と冷静が入り交じった状態です。自分は1・2年生の頃にそれなりの勉強をしていたので、2年生のセンター早期模試ではそれなりの点数が取れましたが、そこから1年間の伸びというのは期待したほどではありませんでした。ただ、センターを前に自分が過去最高得点を取るには、問題を正確に読む、正確に計算する、そして精神的安定が大切だと思っています。後輩の皆さんも、普段からケアレスミスのようなものを軽視しないで勉強を進めて下さい。（北海道大学医学部医学科 合格）

・センター3日前になりましたが、普段と変わらない勉強生活を続けるだけです。当日自己ベストを取れると信じて、やることをやるだけです。伸び期がなかなか来なくて不安になることもあると思いますが、勉強していればいつかは必ず点数が上がります。それがセンター当日に来ることだってあるかもしれません。勉強頑張ってください。

（バスケットボール部 埼玉県立大学保健医療学部臨床検査技師）
・合格するために挑み、合格するのみ。来たるセンターに対し、過度な自信は持っていませんが、不安は驚くほどありません。成すべくして成す。周りに流されず、自分の志のおもむくままに勉強し、食欲に前だけ向いて進み続けることです。賢い湖陵生なら自分に必要なことが分かるはずです。（化学部 北海道大学総合理系 合格）

・私は確かな目的を持たずに勉強してきた気がします。（何となくワークを解いたり、解きつ

ぱなしにしたり等）さすがに夏頃からは本腰を入れましたが、それでも無駄は多かったと思います。「まだ時間があると思うのではなく、「今やればもっと良くなる」「後で楽できるように今やる」くらいの気持ちで日々を過ごしてほしいです。ですが、焦燥は最高の燃料だとも思います。（写真部 酪農学園大学獣医学部 合格）

・一番大切なのは、この時期に「これだけやってきたのだ」と腰をドッシリとすえていられること。また、それに加えて「まだ自分は伸びる」と思いながら前進できること、だと思います。自分が何点取れるかは分かりませんが、僕は自分がやってきたことに対して自身を待っているの、今こうして落ち着いていられます。1・2年のうちからセンターや2次試験当日の自分の姿を思い描けていれば、3年のこの時期にいいことがたくさんあるはずですよ。お互い頑張りましょう。定期考査も模試も同じように、解ける問題を全て解いて取れる点を全部取ってこようと思います。（ハンドボール部 東京大学理一 合格）

3年生の湖陵祭におけるパフォーマンス、体育大会の頑張り、久しぶりに湖陵3年生の底力を見ることができました。「優勝」の2文字を合い言葉に様々なアイデアを出し合い、どのクラスも素晴らしいチームワークでした。その力は勉強でも生かせるはずですよ。皆さんの爆発力、火事場のクソ力を期待します。

先生方を信じて、仲間を信じて、そして自分を信じて最後の最後まで諦めないで頑張ってください。3年生全員に素敵な春が訪れること、心より願っています。

「志を高く持ち、易きに流れない！」
「ガンバレ湖陵生！」

★大学を探求しよう（教育実習生の先生方からのメッセージ）

北海道大学 文学部日本史学講座 千葉康平

高校時代イメージしていた大学と今の大学生活は、本当に大きく違っていた、と思います。大学は高校の延長、授業を受けて、好きな勉強をするのかな、くらいに思っていたのですが、大学は全然違いました。ほとんど全てが個人任せ、勉強も部活も、バイトも留学も何でも自由にできます。個人のやる気、目標によって生活が大きく変わる、それが大学生活かなと思います。

大学における主体的な学び、という点で、イメージをしてもらうなら、教科書を読む側から教科書を作る側の人間になる、ということかなと思います。高校では、受験勉強の中で、覚えるということほとんどだと思いますが、大学では自分なりの問題意識、「なぜ」ということを出発点に、各自の研究に取り組むことになります。

北海道大学は勉強や部活、サークルをする環境が整っており、とても良い大学だと思います。もしかしたら、まだ当分は大学にいるかもしれないので、みんなと一緒に勉強できることを楽しみにしています。

メッセージもドンドン掲載していきます。どうぞ期待！